

## 大会宣言(案)

私たちは本日、愛労連第52回定期大会を開催し、むこう1年間の活動方針を確立しました。第52回定期大会は、安倍自公政権によって「戦争法案」が衆議院で強行採決されたことでの大会になりました。安倍自公政権の暴走と怒りを込めて抗議するとともに、引き続き廃案に向けて全力をあげるものです。

組合員のみなさん

安倍自公政権は「戦争する国づくり」とともに「世界で一番企業が活動しやすい国づくり」に向けて暴走をくり返してきました。雇用を破壊する労働法制の改悪をはじめ、社会保障制度の改悪、TPP(環太平洋連携協定)への参加、原発再稼働、沖縄の野古新基地建設など、安倍政権あらゆる分野で、国民のいのち・暮らしを犠牲にし、「日米同盟」と財界・大企業の利益最優先の政治を強行してきました。

しかし安倍政権の「暴走」に対し、国民の反撃が次々前向きに進んでいます。戦争法案や脱原発などさまざまな分野でのたたかみは大きなうねりとなり、いまや「アベ政治を許さない」という共同のたたかみに発展し、安倍政権を追い込んでいるのです。

組合員のみなさん

私たちをとりまく情勢は、戦争か平和か、暮らし破壊の政治かそれとも憲法を生かす国づくりをすすめるのかかすどく問われています。愛労連結成して25年がたちました。この間、大幅賃上げ実現、最低賃金引き上げ、働くルールの確立、社会保障の拡充、核兵器廃絶や憲法を守れと、つねに働く者の暮らしを守る運動の先頭をたってきました。

ILO(国際労働機関)憲章は、過去の戦争の体験から「持続的な平和」のためにこそ「雇用の安定」と国民への「社会的保護」の必要性を強調しています。雇用の不安定と社会保障の解消が戦争につながるという「教訓」を示しています。安倍自公政権の暴走は、こうした国際的な「到達点」を真つ向から否定するものです。

組合員のみなさん

歴史的転機がたっているいま、私たちはこれまでの運動を受け継ぎ、さらに愛労連運動を前進させていくものです。こうした運動を確実に前進させるために、早期に「7万愛労連」を構築することが欠かせません。

本日の大会で確立した方針をすべての組合員が実践し、戦争する国づくりノー、暮らしと平和のために、憲法を守る職場・地域・社会をめざし、おなじに奮闘しようではありませんか。

以上決議します。

2015年7月26日

愛知県労働組合総連合 第52回定期大会